

記者発表資料  
平成19年7月20日  
環境創造局環境科学研究所  
所長 畑澤 智 TEL 671-3445

(神奈川県、川崎市と同時発表)

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

## 平成18年度大気汚染の状況について

横浜市では、大気環境の状況を把握するため、大気汚染防止法に基づいて、**窒素酸化物等の常時監視**（自動測定機による連続測定）とベンゼン等の**有害大気汚染物質の常時監視**（毎月の定点測定）を継続的に行っています。

また、ダイオキシン類対策特別措置法に基づいて、**ダイオキシン類の常時監視**（年4回の定点測定）も実施しています。

このたび、これらの常時監視の平成18年度測定結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

### 1 窒素酸化物等の常時監視測定結果概要

#### (1) 二酸化窒素

- ・二酸化窒素に関する環境基準の適合状況については、一般環境大気測定局(以下「一般局」という。)20局では平成15年度からその全局で、自動車排出ガス測定局(以下「自排局」という。)8局では平成17年度に引き続いてその全局で適合しました。
- ・年平均値については、一般局、自排局ともに横ばい状況で推移していましたが、平成11年度からは緩やかに改善傾向を示しています。

【二酸化窒素の環境基準適合局数の推移】 (適合局数/全局数)

年 度	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
一般局	13/20	10/20	15/20	18/20	17/20	19/20	20/20	20/20	20/20	20/20
自排局	1/8	0/8	2/8	2/8	2/8	3/8	7/8	7/8	8/8	8/8

#### (2) 浮遊粒子状物質

- ・浮遊粒子状物質に関する環境基準の適合状況については、一般局20局のうち17局と自排局8局のうち6局で適合しました。
- ・年平均値は平成17年度と比べほぼ横ばいとなっていますが、長期的には改善傾向にあります。

**【浮遊粒子状物質の環境基準適合局数の推移】**

(適合局数／全局数)

年 度	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
一般局	5/20	4/20	17/20	5/20	19/20	16/20	13/20	19/20	20/20	17/20
自排局	0/8	0/8	4/8	3/8	4/8	3/8	3/8	8/8	8/8	6/8

**(3) 光化学オキシダント**

- ・光化学オキシダントに関する環境基準の適合状況については、平成17年度と同様に測定を行っている一般局19局の全局が不適合でした。
- ・光化学スモッグ注意報の発令回数及び届出被害者数については、昭和50年前後をピークに減少しています。
- ・平成18年度の光化学スモッグ注意報の発令回数は11回で、届出被害者数は166人でした。(平成19年度の光化学スモッグ注意報の発令回数は、7月20日現在3回で、届出被害者はありません。)

**(4) 二酸化硫黄**

- ・二酸化硫黄に関する環境基準の適合状況については、昭和55年度から引き続いて一般局の全局で適合しました。
- ・年平均値については、昭和42年度をピークに昭和50年度にかけて急激に低下し、その後も市内全域にわたって低濃度で推移しています。

**(5) 一酸化炭素**

- ・一酸化炭素に関する環境基準の適合状況については、昭和56年度から引き続いて自排局の全局で適合しました。
- ・年平均値については、昭和52年度以降低下し、全市的に低濃度で推移しています。

**2 有害大気汚染物質の常時監視測定結果概要**

- ・環境基準又は指針値が設定されている8物質の適合状況については、ベンゼンにおいて自排局1局が不適合でしたが、それ以外の物質については、測定を行っている一般局3局と自排局2局の5局全局で適合しました。

**3 ダイオキシン類の常時監視測定結果概要**

- ・ダイオキシン類の環境基準の適合状況については、平成17年度と同様に測定を行っている一般局18局の全局で適合しました。

**4 測定結果関係資料**

資料「平成18年度大気汚染の状況」

# 資 料

## 平成18年度大気汚染の状況

1	大気汚染測定内容	1
2	窒素酸化物等の常時監視測定結果	3
3	有害大気汚染物質の常時監視測定結果	19
4	ダイオキシン類の常時監視測定結果	20
5	大気汚染に関する環境基準等	21

種 別	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	二酸化硫黄	一酸化炭素
一般環境大気測定局	○ (20局)	○ (20局)	○ (19局)	○ (18局)	—
自動車排出ガス測定局	○ (8局)	○ (8局)	—	—	○ (3局)

○印で測定

横浜市環境創造局環境科学研究所

# 1 大気汚染測定内容

表1 大気汚染常時監視測定局及び測定項目

種別	地点番号	測定局名	測定項目						
			二酸化窒素	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	二酸化硫黄	一酸化炭素	有害大気汚染物質	ダイオキシン類
一般環境大気測定局※1	1	鶴見区潮田交流プラザ	○	○	○	○	—	○	—
	2	神奈川区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	○
	3	港北区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	○
	4	中区加曾台	○	○	—	—	—	—	—
	5	磯子区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	○
	6	保土ヶ谷区桜丘高校	○	○	○	○	—	—	○
	7	西区平沼小学校	○	○	○	○	—	—	○
	8	金沢区長浜	○	○	○	○	—	—	○
	9	鶴見区生麦小学校	○	○	○	—	—	—	○
	10	中区本牧	○	○	○	○	—	○	○
	11	戸塚区汲沢小学校	○	○	○	○	—	—	○
	12	港南区野庭中学校	○	○	○	○	—	—	○
	13	旭区鶴ヶ峯小学校	○	○	○	○	—	—	○
	14	瀬谷区南瀬谷小学校	○	○	○	○	—	—	○
	15	南区横浜商業高校	○	○	○	○	—	—	○
	16	栄区旧犬山小学校※3	○	○	○	○	—	—	○
	17	緑区三保小学校	○	○	○	○	—	○	○
	18	青葉区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	○
	19	都筑区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	○
	20	泉区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	○
自動車排出ガス測定局※2	21	鶴見区下末吉小学校	○	○	—	—	—	—	—
	22	西区浅間下交差点	○	○	—	—	○	—	—
	23	港南中学校	○	○	—	—	—	—	—
	24	戸塚区矢沢交差点	○	○	—	—	—	○	—
	25	旭区都岡小学校	○	○	—	—	○	—	—
	26	青葉台	○	○	—	—	○	—	—
	27	資源循環都筑工場前	○	○	—	—	—	—	—
	28	磯子区滝頭	○	○	—	—	—	○	—

※1：以下「一般局」という。

※2：以下「自排局」という。

※3：平成19年4月に「栄区上郷小学校」に名称変更した。

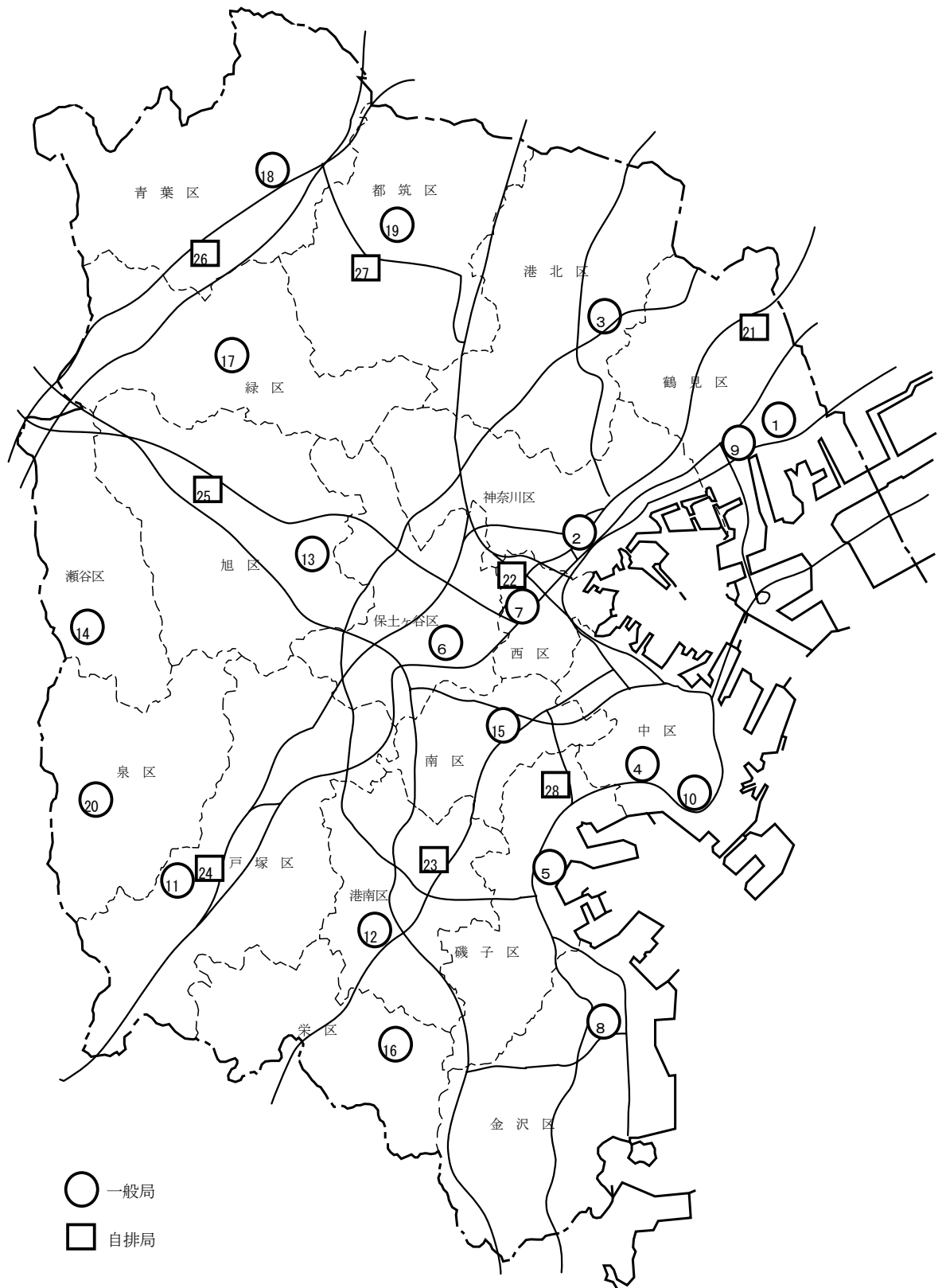


図1 大気汚染常時監視測定局の配置

## 2 窒素酸化物等の常時監視測定結果

表 2-1 平成18年度 二酸化窒素年間測定結果（一般局）

測 定 局	年平均値	日平均値が0.06ppmを 超えた日数とその割合		日平均値の 年間98%値	98%値評価に よる日平均値 が0.06ppmを 超えた日数	98%値評価 による環境 基準の適否
	(ppm)	(日)	(%)	(ppm)	(日)	(適○ 否×)
鶴見区潮田交流プラザ	0.027	1	0.3	0.050	0	○
神奈川区総合庁舎	0.027	0	0.0	0.047	0	○
港北区総合庁舎	0.026	0	0.0	0.047	0	○
中区加曾台	0.026	1	0.3	0.048	0	○
磯子区総合庁舎	0.027	0	0.0	0.047	0	○
保土ヶ谷区桜丘高校	0.024	0	0.0	0.045	0	○
西区平沼小学校	0.027	0	0.0	0.050	0	○
金沢区長浜	0.019	0	0.0	0.041	0	○
鶴見区生麦小学校	0.026	1	0.3	0.048	0	○
中区本牧	0.024	0	0.0	0.044	0	○
戸塚区汲沢小学校	0.021	0	0.0	0.040	0	○
港南区野庭中学校	0.021	0	0.0	0.043	0	○
旭区鶴ヶ峯小学校	0.022	0	0.0	0.042	0	○
瀬谷区南瀬谷小学校	0.022	0	0.0	0.040	0	○
南区横浜商業高校	0.025	0	0.0	0.046	0	○
栄区旧犬山小学校	0.019	0	0.0	0.041	0	○
緑区三保小学校	0.020	0	0.0	0.037	0	○
青葉区総合庁舎	0.025	0	0.0	0.041	0	○
都筑区総合庁舎	0.024	0	0.0	0.044	0	○
泉区総合庁舎	0.022	0	0.0	0.042	0	○
平 均	0.024	—	—	0.044	—	—

表 2 - 2 二酸化窒素年平均値の経年変化（一般局）

(ppm)

年 度 測 定 局	平成 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
鶴見区潮田交流プラザ	0.038	0.037	0.033	0.036	0.036	0.032	0.030	0.029	0.029	0.027
神奈川区総合庁舎	0.038	0.039	0.036	0.037	0.030	0.031	0.031	0.029	0.029	0.027
港北区総合庁舎	0.036	0.036	0.033	0.033	0.034	0.032	0.029	0.027	0.028	0.026
中区加曽台	0.033	0.035	0.032	0.033	0.034	0.032	0.031	0.027	0.027	0.026
磯子区総合庁舎	0.037	0.039	0.035	0.034	0.029	0.029	0.029	0.027	0.028	0.027
保土ヶ谷区桜丘高校	0.032	0.033	0.030	0.031	0.032	0.026	0.026	0.024	0.025	0.024
西区平沼小学校	0.035	0.036	0.033	0.033	0.034	0.028	0.028	0.027	0.028	0.027
金沢区長浜	0.024	0.026	0.022	0.022	0.021	0.021	0.020	0.020	0.020	0.019
鶴見区生麦小学校	0.035	0.036	0.027	0.028	0.029	0.028	0.028	0.027	0.028	0.026
中区本牧	0.029	0.032	0.023	0.026	0.024	0.026	0.025	0.025	0.024	0.024
戸塚区汲沢小学校	0.028	0.029	0.022	0.021	0.022	0.023	0.023	0.021	0.022	0.021
港南区野庭中学校	0.028	0.029	0.022	0.022	0.023	0.023	0.022	0.021	0.022	0.021
旭区鶴ヶ峯小学校	0.030	0.030	0.023	0.023	0.023	0.025	0.025	0.022	0.023	0.022
瀬谷区南瀬谷小学校	0.032	0.031	0.024	0.023	0.023	0.025	0.024	0.023	0.025	0.022
南区横浜商業高校	0.030	0.033	0.028	0.028	0.027	0.027	0.027	0.025	0.026	0.025
栄区旧犬山小学校	0.026	0.028	0.025	0.025	0.025	0.025	0.023	0.020	0.020	0.019
緑区三保小学校	0.027	0.028	0.024	0.026	0.027	0.025	0.024	0.022	0.021	0.020
青葉区総合庁舎	0.033	0.033	0.030	0.031	0.031	0.030	0.028	0.026	0.026	0.025
都筑区総合庁舎	0.032	0.032	0.029	0.031	0.031	0.030	0.028	0.026	0.026	0.024
泉区総合庁舎	0.028	0.030	0.027	0.028	0.029	0.025	0.023	0.022	0.023	0.022
平 均	0.032	0.033	0.028	0.029	0.028	0.027	0.026	0.025	0.025	0.024

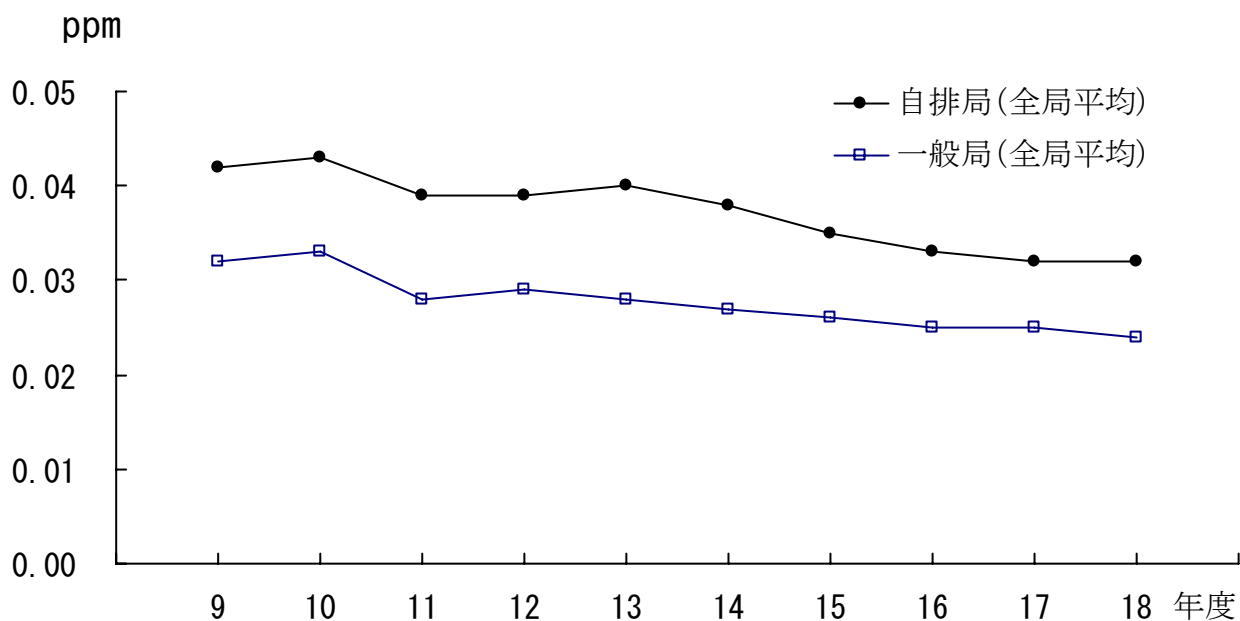


図2-1 二酸化窒素年平均値経年変化 (一般局全局平均・自排局全局平均)

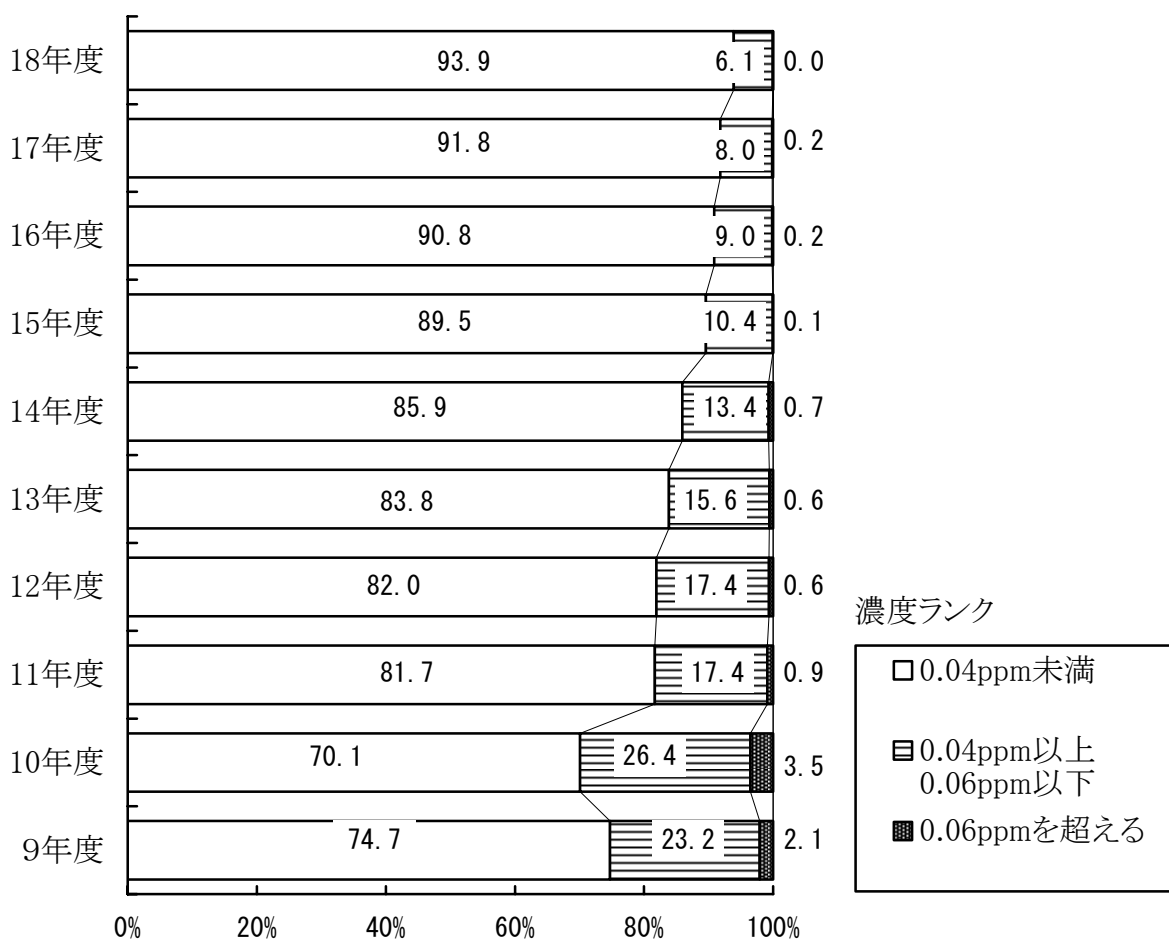


図2-2 二酸化窒素日平均値の濃度ランク別割合 (一般局全局平均)



表 2-3 平成 18 年度 二酸化窒素年間測定結果（自排局）

測 定 局	年平均値	日平均値が0.06ppmを 超えた日数とその割合		日平均値の 年間98%値	98%値評価に よる日平均値 が0.06ppmを 超えた日数	98%値評価 による環境 基準の適否
	(ppm)	(日)	(%)	(%)	(日)	(適○ 否×)
鶴見区下末吉小学校	0.032	2	0.6	0.055	0	○
西区浅間下交差点	0.040	5	1.4	0.060	0	○
港南中学校	0.027	0	0.0	0.049	0	○
戸塚区矢沢交差点	0.029	0	0.0	0.046	0	○
旭区都岡小学校	0.029	0	0.0	0.046	0	○
青葉台	0.031	0	0.0	0.049	0	○
資源循環都筑工場前	0.025	0	0.0	0.044	0	○
磯子区滝頭	0.033	2	0.6	0.054	0	○
平 均	0.031	—	—	0.050	0	—

表 2-4 二酸化窒素年平均値の経年変化（自排局）

(ppm)

年 度 測 定 局	平成 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
鶴見区下末吉小学校	0.043	0.044	0.040	0.041	0.043	0.040	0.033	0.031	0.032	0.032
西区浅間下交差点	0.052	0.054	0.050	0.047	0.050	0.048	0.041	0.039	0.040	0.040
港南中学校	0.039	0.040	0.038	0.037	0.037	0.035	0.034	0.033	0.031	0.027
戸塚区矢沢交差点	0.039	0.040	0.031	0.030	0.031	0.031	0.031	0.031	0.028	0.029
旭区都岡小学校	0.042	0.043	0.040	0.039	0.040	0.038	0.037	0.030	0.030	0.029
青葉台	0.041	0.042	0.040	0.040	0.041	0.039	0.039	0.037	0.033	0.031
資源循環都筑工場前	0.032	0.034	0.032	0.033	0.033	0.030	0.028	0.027	0.025	0.025
磯子区滝頭	0.047	0.047	0.043	0.044	0.045	0.044	0.037	0.034	0.035	0.033
平 均	0.042	0.043	0.039	0.039	0.040	0.038	0.035	0.033	0.032	0.031

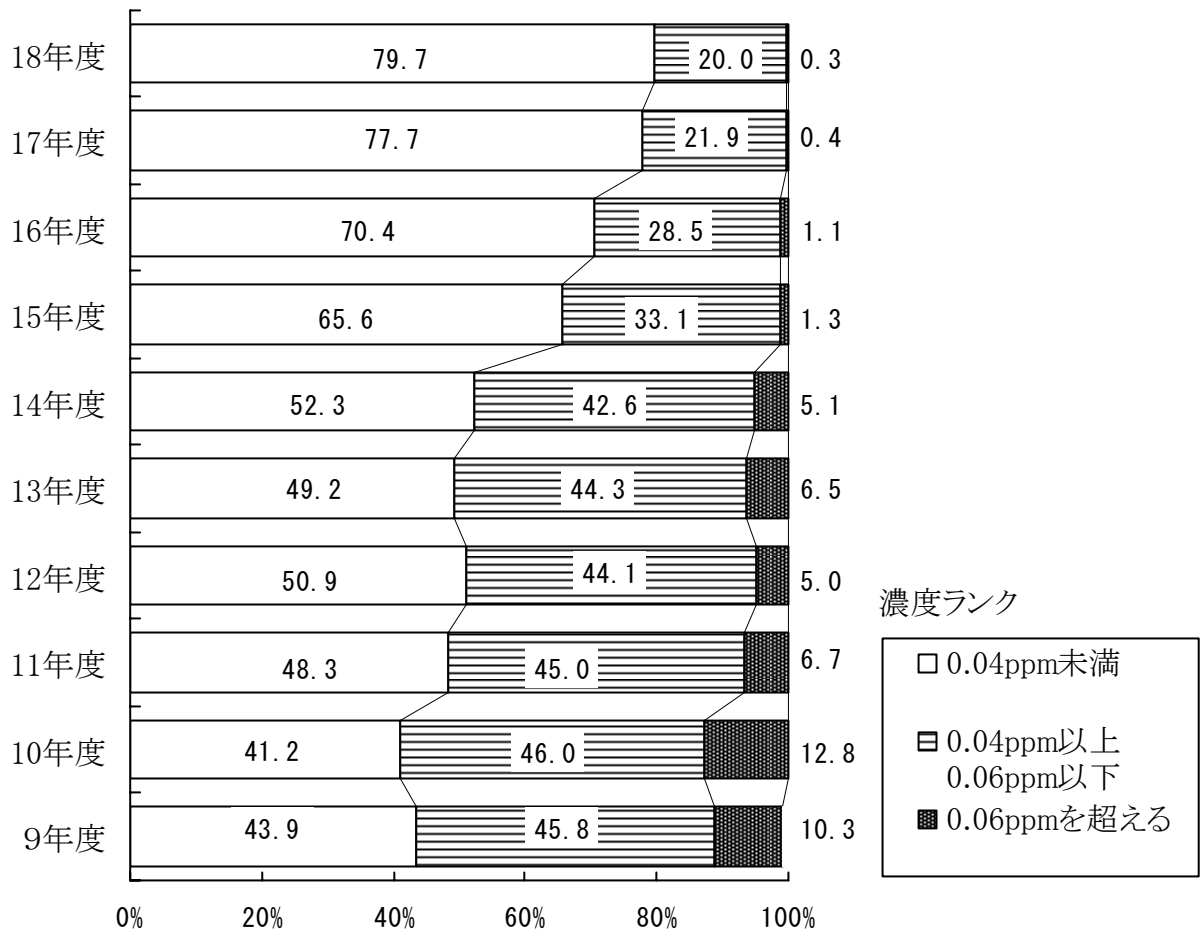


図2-3 二酸化窒素日平均値の濃度ランク別割合（自排局全局平均）

表 2-5 平成 18 年度 浮遊粒子状物質年間測定結果（一般局）

測 定 局	年平均値	1 時 間 値 が 0.20mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間数	日 平 均 値 が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた 日数とその割合		日平均値の 2%除外値	長期的評価による 環境基準の適否
	(mg/m <sup>3</sup> )	(時間)	(日)	(%)	(mg/m <sup>3</sup> )	(適○ 否×)
鶴見区潮田交流プラザ	0.034	6	2	0.6	0.087	○
神奈川区総合庁舎	0.032	2	1	0.3	0.082	○
港北区総合庁舎	0.031	2	0	0.0	0.078	○
中区加曾台	0.033	5	4	1.1	0.088	○
磯子区総合庁舎	0.034	5	7	1.9	0.096	×
保土ヶ谷区桜丘高校	0.030	1	1	0.3	0.086	○
西区平沼小学校	0.035	6	4	1.1	0.089	×
金沢区長浜	0.028	0	0	0.0	0.073	○
鶴見区生麦小学校	0.032	6	2	0.6	0.086	○
中区本牧	0.031	12	4	1.1	0.081	×
戸塚区汲沢小学校	0.031	2	0	0.0	0.079	○
港南区野庭中学校	0.032	2	1	0.3	0.082	○
旭区鶴ヶ峯小学校	0.030	2	1	0.3	0.068	○
瀬谷区南瀬谷小学校	0.034	5	1	0.3	0.086	○
南区横浜商業高校	0.030	2	0	0.0	0.071	○
栄区旧犬山小学校	0.030	0	0	0.0	0.074	○
緑区三保小学校	0.032	7	4	1.1	0.088	○
青葉区総合庁舎	0.031	2	1	0.3	0.075	○
都筑区総合庁舎	0.029	2	0	0.0	0.066	○
泉区総合庁舎	0.031	1	0	0.0	0.077	○
平 均	0.032	—	—	—	0.081	—

表 2 - 6 浮遊粒子状物質年平均値の経年変化（一般局）

(mg/m<sup>3</sup>)

年度 測 定 局	平成 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
鶴見区潮田交流プラザ	0.041	0.039	0.032	0.035	0.033	0.035	0.037	0.032	0.033	0.034
神奈川区総合庁舎	0.039	0.038	0.031	0.035	0.032	0.029	0.034	0.032	0.033	0.032
港北区総合庁舎	0.041	0.040	0.033	0.036	0.035	0.031	0.032	0.029	0.030	0.031
中区加曽台	0.033	0.035	0.029	0.033	0.031	0.029	0.032	0.031	0.034	0.033
磯子区総合庁舎	0.036	0.039	0.031	0.031	0.030	0.028	0.026	0.030	0.033	0.034
保土ヶ谷区桜丘高校	0.038	0.037	0.031	0.035	0.033	0.030	0.028	0.027	0.032	0.030
西区平沼小学校	0.043	0.043	0.038	0.038	0.039	0.033	0.031	0.027	0.034	0.035
金沢区長浜	0.029	0.028	0.024	0.027	0.025	0.024	0.022	0.020	0.029	0.028
鶴見区生麦小学校	0.042	0.042	0.036	0.038	0.037	0.034	0.034	0.030	0.032	0.032
中区本牧	0.033	0.033	0.026	0.031	0.029	0.032	0.032	0.029	0.032	0.031
戸塚区汲沢小学校	0.042	0.040	0.036	0.038	0.038	0.032	0.031	0.030	0.031	0.031
港南区野庭中学校	0.031	0.030	0.023	0.027	0.027	0.030	0.031	0.033	0.031	0.032
旭区鶴ヶ峯小学校	0.041	0.036	0.026	0.029	0.032	0.031	0.032	0.029	0.032	0.030
瀬谷区南瀬谷小学校	0.042	0.040	0.037	0.037	0.037	0.038	0.038	0.034	0.035	0.034
南区横浜商業高校	0.040	0.041	0.034	0.038	0.036	0.033	0.030	0.029	0.031	0.030
栄区旧犬山小学校	0.030	0.031	0.025	0.029	0.027	0.026	0.024	0.027	0.030	0.030
緑区三保小学校	0.038	0.038	0.032	0.034	0.034	0.033	0.035	0.029	0.031	0.032
青葉区総合庁舎	0.043	0.041	0.035	0.036	0.035	0.031	0.029	0.029	0.032	0.031
都筑区総合庁舎	0.039	0.037	0.031	0.033	0.031	0.029	0.026	0.027	0.029	0.029
泉区総合庁舎	0.039	0.039	0.033	0.034	0.034	0.032	0.029	0.029	0.031	0.031
平 均	0.038	0.037	0.031	0.034	0.033	0.031	0.031	0.029	0.032	0.032

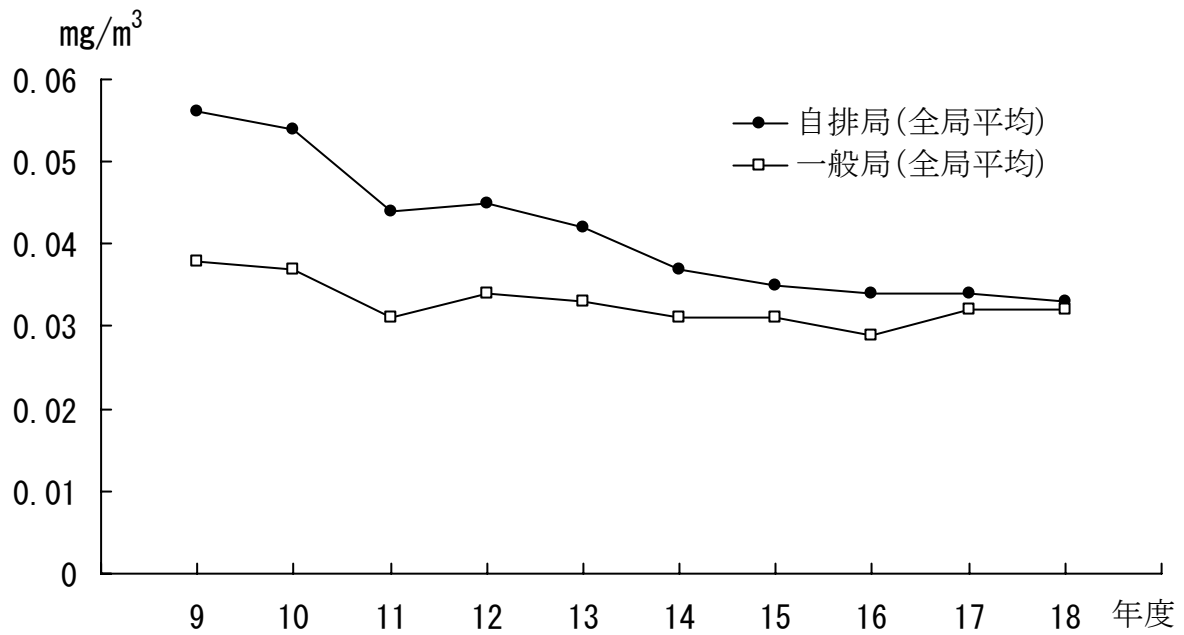


図2-4 浮遊粒子状物質年平均値の経年変化（一般局全局平均・自排局全局平均）

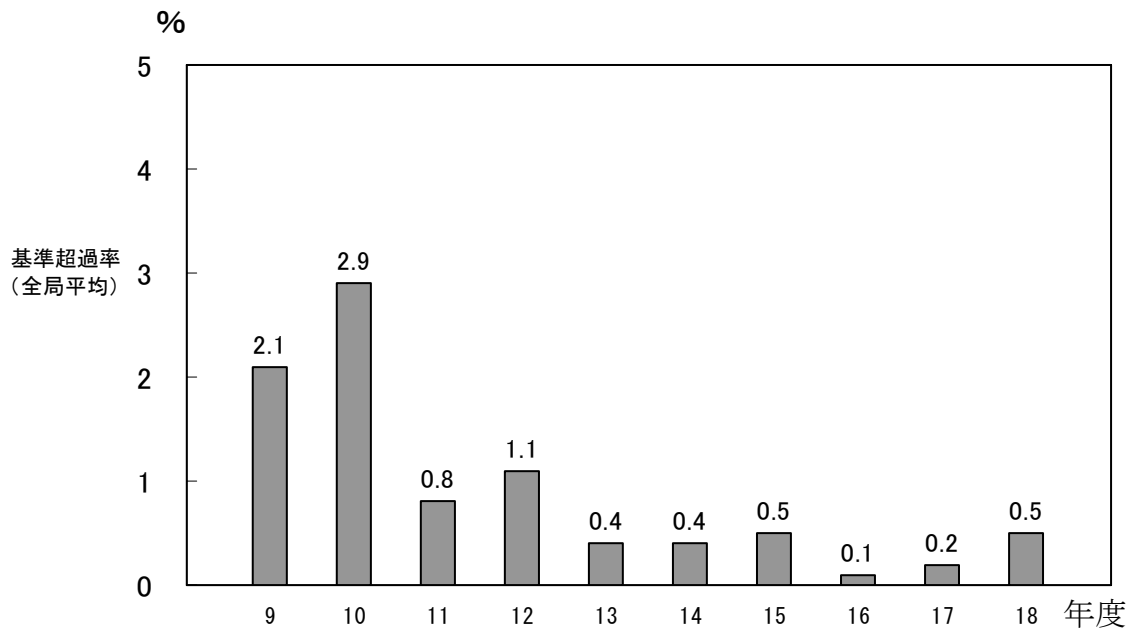


図2-5 浮遊粒子状物質日平均値が環境基準(0.10mg/m<sup>3</sup>)を超えた日数の割合(一般局全局平均)

表 2-7 平成 18 年度 浮遊粒子状物質年間測定結果（自排局）

測 定 局	年平均値	1 時 間 値 が 0.20mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間数	日 平 均 値 が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた 日数とその割合		日平均値の 2%除外値	長期的評価による 環 境 基 準 の 適 否
	(mg/ m <sup>3</sup> )	(時間)	(日)	(%)	(mg/ m <sup>3</sup> )	(適○, 否×)
鶴見区下末吉小学校	0.035	4	3	0.8	0.090	○
西区浅間下交差点	0.037	3	3	0.8	0.085	×
港南中学校	0.033	2	2	0.6	0.086	○
戸塚区矢沢交差点	0.030	2	0	0.0	0.081	○
旭区都岡小学校	0.032	1	1	0.3	0.072	○
青葉台	0.035	1	0	0.0	0.071	○
資源循環都筑工場前	0.032	2	2	0.6	0.079	○
磯子区滝頭	0.033	11	6	1.7	0.097	×
平 均	0.033	—	—	—	0.083	—

表 2-8 浮遊粒子状物質年平均値の経年変化（自排局）

(mg/m<sup>3</sup>)

年 度 測 定 局	平成 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
鶴見区下末吉小学校	0.055	0.051	0.039	0.041	0.039	0.036	0.036	0.033	0.035	0.035
西区浅間下交差点	0.074	0.074	0.058	0.059	0.055	0.045	0.038	0.039	0.038	0.037
港南中学校	0.042	0.042	0.035	0.037	0.034	0.031	0.033	0.032	0.032	0.033
戸塚区矢沢交差点	0.045	0.044	0.038	0.038	0.036	0.034	0.033	0.032	0.034	0.030
旭区都岡小学校	0.056	0.053	0.045	0.047	0.044	0.038	0.038	0.034	0.033	0.032
青葉台	0.055	0.055	0.047	0.047	0.043	0.040	0.042	0.039	0.036	0.035
資源循環都筑工場前	0.050	0.046	0.039	0.039	0.036	0.033	0.028	0.031	0.031	0.032
磯子区滝頭	0.074	0.068	0.048	0.048	0.048	0.041	0.035	0.032	0.034	0.033
平 均	0.056	0.054	0.044	0.045	0.042	0.037	0.035	0.034	0.034	0.033

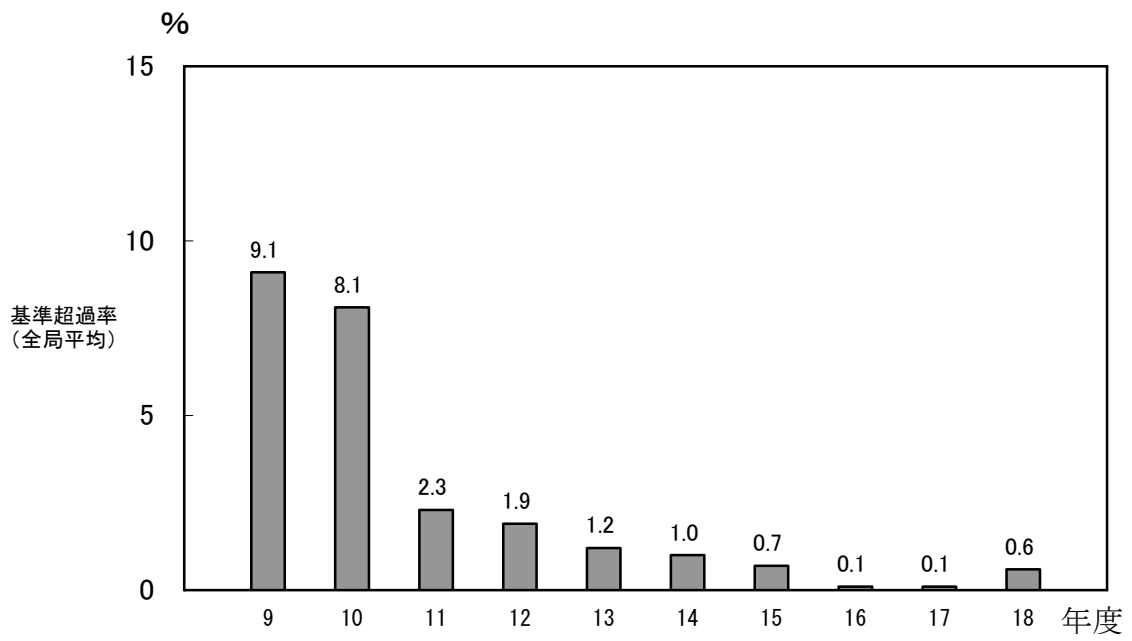


図2-6 浮遊粒子状物質日平均値が環境基準 (0.10mg/m<sup>3</sup>) を超えた日数の割合 (自排局全局平均)

表 2-9 平成18年度 光化学オキシダント年間測定結果（一般局）

測 定 局	昼間の1時間 値の年平均値	昼間の1時間値が 0.06ppm を超えた 日数と時間数		昼間の1時間値が 0.12ppm以上の 日数と時間数		昼間の1時間 間値の最高値	環境基準の適否  (適○ 否×)
	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)	(ppm)	
鶴見区潮田交流プラザ	0.024	62	241	7	13	0.171	×
神奈川区総合庁舎	0.022	56	204	4	6	0.152	×
港北区総合庁舎	0.025	58	246	6	13	0.180	×
磯子区総合庁舎	0.022	27	79	0	0	0.117	×
保土ヶ谷区桜丘高校	0.022	36	121	0	0	0.107	×
西区平沼小学校	0.025	69	316	6	13	0.159	×
金沢区長浜	0.029	79	393	5	13	0.170	×
鶴見区生麦小学校	0.024	56	213	4	9	0.175	×
中区本牧	0.024	48	166	2	6	0.139	×
戸塚区汲沢小学校	0.031	95	514	10	31	0.194	×
港南区野庭中学校	0.028	80	333	3	8	0.165	×
旭区鶴ヶ峯小学校	0.028	89	479	10	26	0.184	×
瀬谷区南瀬谷小学校	0.029	86	423	9	24	0.181	×
南区横浜商業高校	0.028	88	441	9	24	0.167	×
栄区旧犬山小学校	0.026	37	116	0	0	0.108	×
緑区三保小学校	0.031	105	571	11	29	0.193	×
青葉区総合庁舎	0.026	80	392	8	20	0.188	×
都筑区総合庁舎	0.028	90	453	10	27	0.194	×
泉区総合庁舎	0.029	75	391	9	22	0.179	×
平 均	0.026	—	—	—	—	—	—



表 2-10 平成 18 年度 光化学スモッグ注意報発令状況（横浜市域）

回数	発令日 (曜日)	措置 種類	発令時刻	光化学オキシダントの市内最高値			市内届出 被害者数	神奈川県内の 他地域の発令状況
				最高値	測定局	時刻		
1	6月1日(木)	注意報	14:20～16:20	0.133ppm	都筑区総合庁舎	(14時)	0人	川崎、県央
2	6月29日(木)	注意報	12:20～17:30	0.148ppm	都筑区総合庁舎	(14時)	0人	川崎、湘南、県央
3	7月14日(金)	注意報	11:20～19:30	0.194ppm	戸塚区汲沢小学校	(13時)	166人	川崎、横須賀、湘南、県央、北相
4	7月15日(土)	注意報	11:20～16:30	0.193ppm	緑区三保小学校	(13時)	0人	川崎、横須賀、湘南、県央、北相
5	7月26日(水)	注意報	15:20～17:20	0.140ppm	緑区三保小学校	(15時)	0人	川崎、湘南、西湘、県央、北相
6	7月27日(木)	注意報	15:20～20:40	0.151ppm	戸塚区汲沢小学校	(18時)	0人	横須賀、湘南、県央
7	7月29日(土)	注意報	12:30～18:10	0.148ppm	戸塚区汲沢小学校	(13時)	0人	川崎、湘南、県央、北相
8	8月5日(土)	注意報	13:20～17:20	0.187ppm	都筑区総合庁舎	(16時)	0人	川崎、横須賀、湘南、県央、北相
9	8月6日(日)	注意報	11:20～16:20	0.194ppm	都筑区総合庁舎	(13時)	0人	川崎、横須賀、湘南、県央
10	8月11日(金)	注意報	15:20～17:20	0.124ppm	瀬谷区南瀬谷小学校	(16時)	0人	川崎、湘南、県央
11	9月5日(火)	注意報	13:20～16:00	0.144ppm	戸塚区汲沢小学校	(14時)	0人	川崎、横須賀、湘南、北相

表 2-11 光化学スモッグ注意報発令回数及び届出被害者数の推移

年度 項目	昭和	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
	注意報発令回数	8	10	20	9	12	7	3	11	4	3	8	2	3	4	6	2	12	2
警報発令回数	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
届出被害者数(人)	2,337	834	1,545	205	6,175	823	909	61	268	0	454	3	178	65	113	0	136	7	

年度 項目	平成	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	注意報発令回数	2	5	5	10	3	8	11	5	3	4	2	6	8	6	4	10	5	11
警報発令回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
届出被害者数(人)	0	0	340	90	0	12	0	0	0	0	0	4	0	5	0	1	226	166	

表 2 - 1 2 平成 1 8 年度 二酸化硫黄年間測定結果（一般局）

測 定 局	年平均値	1 時間値が 0.1ppmを超 えた時間数	日平均値が 0.04ppmを 超えた日数	日平均値の 2%除外値	長期的評価 による環境 基準の適否
	(p p m)	(時間)	(日)	(p p m)	(適○ 否×)
鶴見区潮田交流プラザ	0.008	0	0	0.015	○
神奈川区総合庁舎	0.008	0	0	0.015	○
港北区総合庁舎	0.006	0	0	0.011	○
磯子区総合庁舎	0.008	0	0	0.014	○
保土ヶ谷区桜丘高校	0.006	0	0	0.010	○
西区平沼小学校	0.006	0	0	0.011	○
金沢区長浜	0.006	0	0	0.011	○
中区本牧	0.009	0	0	0.016	○
戸塚区汲沢小学校	0.004	0	0	0.008	○
港南区野庭中学校	0.006	0	0	0.009	○
旭区鶴ヶ峯小学校	0.006	0	0	0.010	○
瀬谷区南瀬谷小学校	0.005	0	0	0.009	○
南区横浜商業高校	0.006	0	0	0.010	○
栄区旧犬山小学校	0.005	0	0	0.009	○
緑区三保小学校	0.005	0	0	0.008	○
青葉区総合庁舎	0.006	0	0	0.010	○
都筑区総合庁舎	0.007	0	0	0.012	○
泉区総合庁舎	0.005	0	0	0.008	○
平 均	0.006	—	—	0.011	—

表 2-13 二酸化硫黄年平均値の経年変化（一般局）

(ppm)

年度 測 定 局	平成 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
鶴見区潮田交流プラザ	0.008	0.009	0.008	0.008	0.009	0.008	0.008	0.009	0.009	0.008
神奈川区総合庁舎	0.008	0.008	0.007	0.009	0.009	0.008	0.008	0.008	0.008	0.008
港北区総合庁舎	0.007	0.007	0.007	0.007	0.008	0.007	0.007	0.007	0.007	0.006
磯子区総合庁舎	0.007	0.008	0.007	0.008	0.009	0.008	0.008	0.007	0.008	0.008
保土ヶ谷区桜丘高校	0.005	0.005	0.005	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005	0.006
西区平沼小学校	0.006	0.006	0.005	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006
金沢区長浜	0.006	0.006	0.005	0.006	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006
中区本牧	0.008	0.009	0.007	0.009	0.010	0.009	0.007	0.008	0.009	0.009
戸塚区汲沢小学校	0.004	0.005	0.005	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004
港南区野庭中学校	0.005	0.006	0.005	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005	0.006	0.006
旭区鶴ヶ峯小学校	0.005	0.005	0.005	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005	0.006	0.006
瀬谷区南瀬谷小学校	0.005	0.005	0.006	0.006	0.007	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
南区横浜商業高校	0.006	0.006	0.006	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006
栄区旧犬山小学校	0.005	0.005	0.005	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
緑区三保小学校	0.005	0.005	0.005	0.005	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
青葉区総合庁舎	0.005	0.006	0.007	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006
都筑区総合庁舎	0.007	0.007	0.006	0.007	0.008	0.007	0.007	0.008	0.007	0.007
泉区総合庁舎	0.006	0.006	0.005	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005
平 均	0.006	0.006	0.006	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006

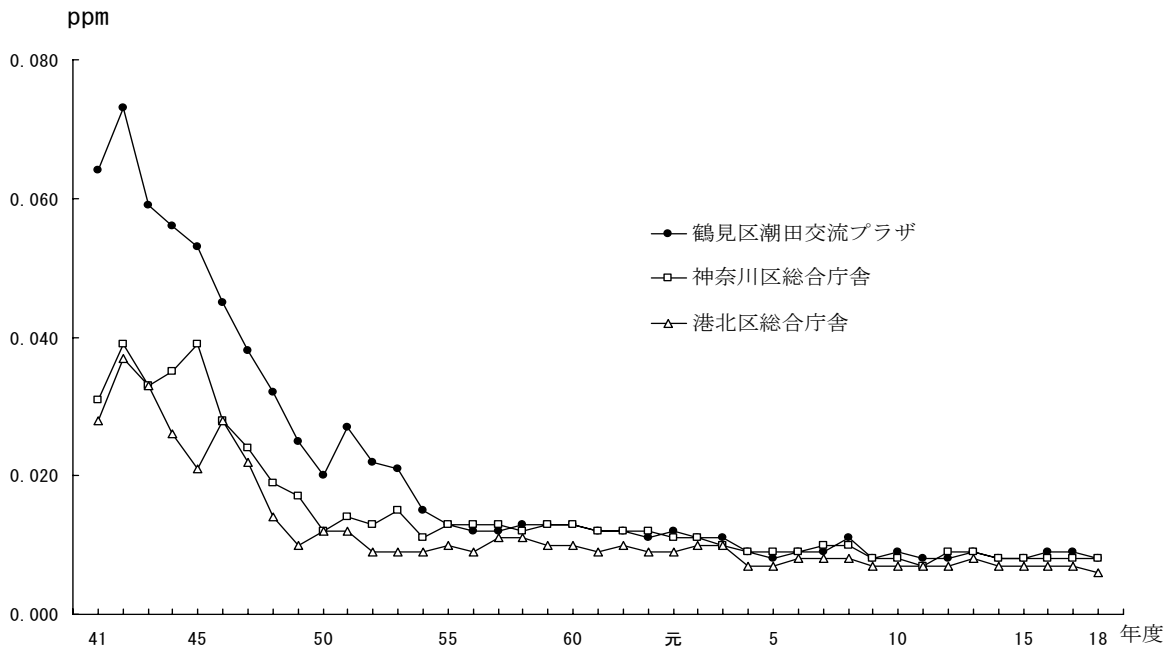


図 2 - 7 二酸化硫黄年平均値の経年変化（一般局継続3局）

表 2 - 1 4 平成 1 8 年度 一酸化炭素年間測定結果（自排局）

測 定 局	年平均値	8 時間値が 20ppm を超えた回数	日平均値が 10ppm を超えた日数	日平均値の 2% 除外値	長期的評価による 環境基準の適否 (適○ 否×)
	(ppm )	(回)	(日)	(ppm )	
西区浅間下交差点	1. 1	0	0	1. 9	○
旭区都岡小学校	0. 9	0	0	1. 6	○
青葉台	0. 7	0	0	1. 3	○
平 均	0. 9	—	—	1. 6	—

表 2-15 一酸化炭素年平均値の経年変化（自排局）

(ppm)

年度 測定局	平成 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
西区浅間下交差点	2.0	2.0	1.7	1.6	1.6	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1
旭区都岡小学校	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9	0.8	0.8	0.9
青葉台	1.1	1.1	0.9	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7
平均	1.5	1.5	1.3	1.2	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9

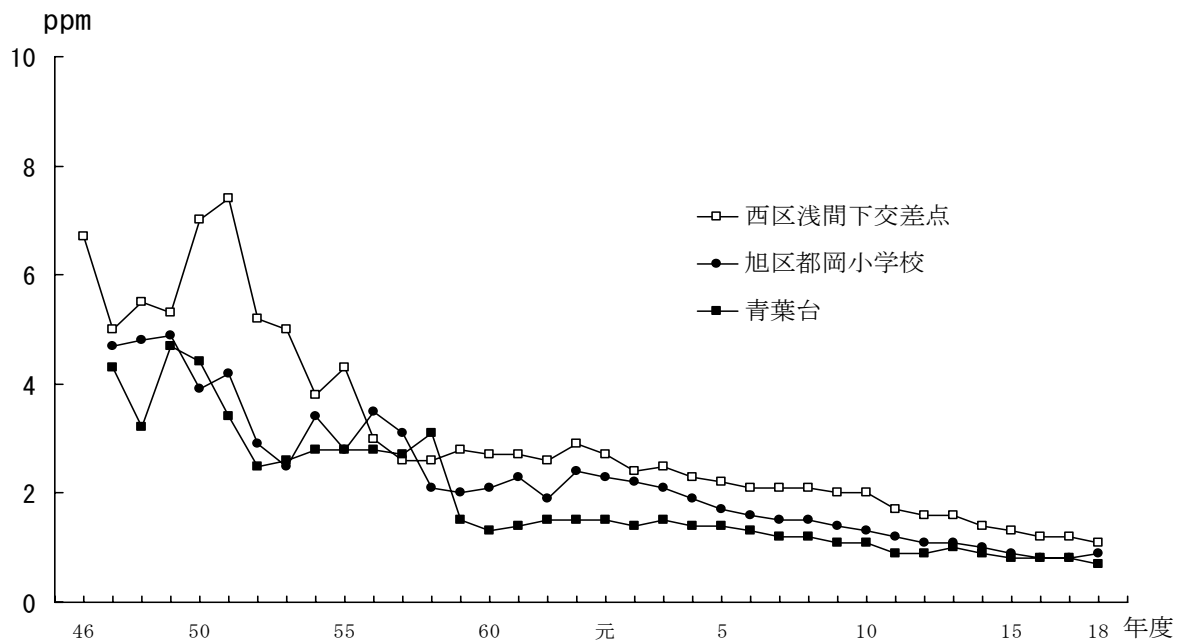


図 2-8 一酸化炭素年平均値の経年変化（自排局継続3局）

### 3 有害大気汚染物質の常時監視測定結果

表3 平成18年度 有害大気汚染物質測定結果

測定局 測定項目	鶴見区	中区	緑区	戸塚区	磯子区	単位
	潮田交流 プラザ (一般局)	本 牧 (一般局)	三保小学校 (一般局)	矢沢交差点 (自排局)	滝 頭 (自排局)	
ベンゼン	2.5	2.3	2.3	2.7	3.4	$\mu\text{g}/\text{m}^3$
トリクロロエチレン	1.8	1.0	1.2	0.95	0.97	
テトラクロロエチレン	0.56	0.44	0.55	0.49	0.50	
ジクロロメタン	3.2	2.3	2.8	4.0	2.6	
アクリロニトリル	0.31	0.20	0.20	0.21	0.22	
塩化ビニルモノマー	0.064	0.049	0.054	0.056	0.063	
クロロホルム	0.24	0.21	0.22	0.20	0.19	
1,2-ジクロロエタン	0.16	0.13	0.65	0.44	0.13	
1,3-ブタジエン	0.38	0.21	0.26	0.37	0.44	
アセトアルデヒド	4.3	3.6	3.9	4.2	4.2	
ホルムアルデヒド	5.4	4.1	4.2	4.5	5.8	
四塩化炭素	0.63	0.62	0.61	0.62	0.67	
1,2-ジクロロプロパン	0.14	0.096	0.097	0.074	0.087	
1,1,1-トリクロロエタン	0.11	0.094	0.10	0.11	0.11	
酸化エチレン	0.056	0.039	0.047	0.048	0.043	
ベンゾ(a)ピレン	0.25	0.23	0.20	0.30	0.28	$\text{ng}/\text{m}^3$
ニッケル化合物	14	9.4	8.1	8.4	10	
ベリリウム及びその化合物	0.044	0.047	0.048	0.045	0.049	
マンガン及びその化合物	45	30	33	27	34	
クロム及びその化合物	18	11	10	11	16	
ヒ素及びその化合物	2.1	1.5	1.7	1.7	1.9	
水銀及びその化合物	2.4	2.0	2.3	2.1	2.3	

$\mu\text{g}$  : マイクログラム。1マイクログラムは、100万分の1グラム。

$\text{ng}$  : ナノグラム。1ナノグラムは、10億分の1グラム。

#### 4 ダイオキシン類の常時監視測定結果

表4 平成18年度 大気環境中ダイオキシン類測定結果

(pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

測定局	春 5月18日 ～ 5月25日	夏 8月17日 ～ 8月24日	秋 11月15日 ～ 11月22日	冬 1月25日 ～ 2月1日	年平均値
1 鶴見区生麦小学校	0.031	0.018	0.064	0.069	0.046
2 神奈川区総合庁舎	0.026	0.017	0.074	0.065	0.046
3 西区平沼小学校	0.026	0.016	0.072	0.060	0.044
4 中区本牧	0.028	0.015	0.062	0.050	0.039
5 南区横浜商業高校	0.025	0.016	0.065	0.051	0.039
6 港南区野庭中学校	0.018	0.013	0.054	0.042	0.032
7 保土ヶ谷区桜丘高校	0.026	0.017	0.063	0.054	0.040
8 旭区鶴ヶ峯小学校	0.028	0.018	0.060	0.061	0.042
9 磯子区総合庁舎	0.025	0.015	0.065	0.050	0.039
10 金沢区長浜	0.019	0.010	0.049	0.039	0.029
11 港北区総合庁舎	0.025	0.017	0.061	0.066	0.042
12 緑区三保小学校	0.022	0.020	0.052	0.049	0.036
13 青葉区総合庁舎	0.024	0.025	0.061	0.051	0.040
14 都筑区総合庁舎	0.024	0.025	0.058	0.062	0.042
15 戸塚区汲沢小学校	0.020	0.017	0.071	0.053	0.040
16 栄区旧犬山小学校	0.019	0.011	0.051	0.036	0.029
17 泉区総合庁舎	0.10	0.018	0.074	0.069	0.065
18 瀬谷区南瀬谷小学校	0.022	0.020	0.066	0.053	0.040
平均	0.028	0.017	0.062	0.054	0.041

pg :ピコグラム。1ピコグラムは、1兆分の1グラム。

TEQ:「毒性等量」。異性体が多数存在するダイオキシン類の量を、ダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8,-四塩化ジベンゾーパラージオキシンの量に換算した量として表していることを示す符号。

## 5 大気汚染に関する環境基準等

表 5-1 大気汚染に関する環境基準及び評価方法

物質	環境基準	評価方法
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	長期的評価 *1
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること。	98%値評価 *2
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	長期的評価 *1
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	長期的評価 *1
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。	昼間 *3

\*1：年間の1日平均値のうち、高いほうから2%の範囲にあるものを除外した後の最高値（2%除外値）を環境基準と比較して評価する。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、不適合と評価する。

\*2：年間の1日平均値のうち、低いほうから98%に相当するものを環境基準と比較して評価する。

\*3：5時～20時の測定値を対象とする。

表 5-2 有害大気汚染物質に関する環境基準及び国の指針値

環境基準：（年平均値） ベンゼン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ジクロロメタン	3 μg/m <sup>3</sup> （0.003mg/m <sup>3</sup> ）以下 200 μg/m <sup>3</sup> （0.2mg/m <sup>3</sup> ）以下 200 μg/m <sup>3</sup> （0.2mg/m <sup>3</sup> ）以下 150 μg/m <sup>3</sup> （0.15mg/m <sup>3</sup> ）以下
国の指針値：（年平均値） アクリロニトリル 塩化ビニルモノマー ニッケル化合物 水銀	2 μg/m <sup>3</sup> （0.002mg/m <sup>3</sup> ）以下 10 μg/m <sup>3</sup> （0.01mg/m <sup>3</sup> ）以下 25 ngNi/m <sup>3</sup> （0.000025mgNi/m <sup>3</sup> ）以下 40 ngHg/m <sup>3</sup> （0.00004mgHg/m <sup>3</sup> ）以下

表 5-3 大気に係るダイオキシン類に関する環境基準

環境基準：（年平均値） ダイオキシン類	0.6 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下
------------------------	------------------------------